



## 2026年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年5月15日

上場会社名 クボテック株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 7709 URL <https://www.kubotek.com/>  
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 久保哲夫  
 問合せ先責任者 (役職名) 管理Dept. マネージャー (氏名) 記虎政史 (TEL) 06-6443-1815  
 定時株主総会開催予定日 2026年6月26日 配当支払開始予定日 —  
 有価証券報告書提出予定日 2026年6月29日  
 決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

## 1. 2026年3月期の連結業績(2025年4月1日~2026年3月31日)

## (1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期	2,102	26.5	△112	—	△114	—	△156	—
2025年3月期	1,662	27.2	△125	—	△126	—	△200	—

(注) 包括利益 2026年3月期 △146百万円(—%) 2025年3月期 △233百万円(—%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2026年3月期	△11.34	—	△120.9	△9.0	△5.3
2025年3月期	△14.59	—	△63.0	△6.2	△7.5

(参考) 持分法投資損益 2026年3月期 一百万円 2025年3月期 一百万円

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年3月期	805	56	7.0	4.07
2025年3月期	1,735	202	11.7	14.69

(参考) 自己資本 2026年3月期 56百万円 2025年3月期 202百万円

## (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2026年3月期	△25	△247	5	169
2025年3月期	△195	△251	△248	438

## 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2025年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2026年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2027年3月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—

## 3. 2027年3月期の連結業績予想(2026年4月1日~2027年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	400	△64.9	△245	—	△250	—	△255	—	△18.5
通期	800	△61.9	△490	—	△500	—	△520	—	△37.8

※ 注記事項

(1) 期中における連結範囲の重要な変更 : 無  
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無  
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無  
 ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2026年3月期	13,830,000株	2025年3月期	13,830,000株
② 期末自己株式数	2026年3月期	62,211株	2025年3月期	62,211株
③ 期中平均株式数	2026年3月期	13,767,789株	2025年3月期	13,767,833株

(参考) 個別業績の概要

1. 2026年3月期の個別業績(2025年4月1日~2026年3月31日)

(1) 個別経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期	1,803	32.6	△93	—	△143	—	△178	—
2025年3月期	1,360	30.4	△129	—	△125	—	△196	—
	1株当たり 当期純利益		潜在株式調整後 1株当たり当期純利益					
	円 銭		円 銭					
2026年3月期	△12.97		—					
2025年3月期	△14.26		—					

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%	円 銭		
2026年3月期	795		118		14.9	8.62		
2025年3月期	1,694		297		17.5	21.59		

(参考) 自己資本 2026年3月期 118百万円 2025年3月期 297百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「(4) 今後の見通し」をご覧ください。

2026年4月22日付で公表しました「当社株式の上場廃止の決定及び整理銘柄への指定に関するお知らせ」のとおり、当社株式は現在整理銘柄に指定されており、2026年10月1日に上場廃止となります。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	3
(4) 今後の見通し .....	4
(5) 継続企業の前提に関する重要事象等 .....	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	4
3. 連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 連結貸借対照表 .....	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	7
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	10
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	11
(継続企業の前提に関する注記) .....	11
(表示方法の変更) .....	11
(セグメント情報等) .....	11
(1株当たり情報) .....	15
(重要な後発事象) .....	15
4. その他 .....	16
生産、受注及び販売の状況 .....	16

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度における我が国経済は、企業業績の底堅さに支えられ一定の持ち直しの動きがみられたものの、原材料価格の高止まりや国際情勢の不安定さが増したことから、景気の下押し要因となりました。その結果、先行き不透明感は一段と強まり、事業環境は総じて厳しい状況が続きました。フラットパネルディスプレイ（FPD）分野では、需要の回復は限定的で、顧客の設備投資意欲も低水準のまま推移しました。市場全体の停滞感は解消されず、当社グループを取り巻く事業環境は年度を通じて厳しい状態が続きました。

このような環境下、当社グループは開発及び営業活動に注力し、受注機会の確保に努めてまいりましたが、業績改善に結びつく成果を十分に得ることはできませんでした。画像処理外観検査装置については、既存案件を中心に売上は一定水準を維持したものの、新規装置の受注は低迷が続きました。その結果、当連結会計年度末の受注残高は前連結会計年度末比96.6%減と大幅に減少し、来期の収益確保に向け厳しい状況となりました。また、3Dソリューションシステム製品については、新規顧客の開拓を進めたものの、売上は前連結会計年度並みにとどまり、事業の停滞感を払拭するには至りませんでした。

これらの結果、当連結会計年度の連結業績は、売上高2,102百万円（前連結会計年度比26.5%増）、営業損失112百万円（前連結会計年度は営業損失125百万円）、経常損失114百万円（前連結会計年度は経常損失126百万円）となり、特別損失に減損損失36百万円を計上した結果、親会社株主に帰属する当期純損失は156百万円（前連結会計年度は親会社株主に帰属する当期純損失200百万円）となりました。

セグメントごとの業績を示すと、次のとおりであります。なお、セグメント利益は営業利益ベースの数値であります。

#### (日本)

日本セグメントでは、主に中国向けの画像処理外観検査装置の売上が伸長し増収となりましたが、経費の増加などから損益の改善は限定的でした。この結果、売上高は1,533百万円（前連結会計年度比40.4%増）、セグメント損失は93百万円（前連結会計年度はセグメント損失129百万円）となりました。

#### (米国)

米国セグメントでは、3Dソリューションシステム製品の売上がほぼ横ばいとなり、伸び悩みました。この結果、売上高は568百万円（前連結会計年度比0.3%減）、セグメント損失は63百万円（前連結会計年度はセグメント損失56百万円）となりました。

### (2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度末における総資産は、前連結会計年度末に比べ929百万円減少しました。流動資産は現金及び預金の減少268百万円、棚卸資産の減少660百万円などにより、906百万円減少しました。固定資産はソフトウェアの減少18百万円などにより、22百万円減少しました。

負債は、前連結会計年度末に比べ783百万円減少しました。流動負債は短期借入金の増加60百万円、1年内返済予定の長期借入金の減少29百万円、契約負債の減少768百万円などにより、736百万円減少しました。固定負債は長期借入金の減少24百万円、リース債務の減少15百万円などにより、47百万円減少しました。

純資産は、親会社株主に帰属する当期純損失156百万円の計上、為替換算調整勘定の増加9百万円などにより、純資産合計が146百万円減少しました。

## (3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前連結会計年度末に比べ268百万円減少し、169百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果使用した資金は、25百万円（前連結会計年度は、資金の使用195百万円）となりました。

これは主に減価償却費の計上236百万円、減損損失の計上36百万円、棚卸資産の減少653百万円などの資金増加、税金等調整前当期純損失の計上150百万円、売上債権の増加70百万円、契約負債の減少762百万円などの資金減少によるものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は、247百万円（前連結会計年度は、資金の使用251百万円）となりました。

これは主にソフトウェアの取得による支出203百万円、有形固定資産の取得による支出44百万円などの資金減少によるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果取得した資金は、5百万円（前連結会計年度は、資金の使用248百万円）となりました。

これは短期借入れによる収入60百万円の資金増加、長期借入金の返済による支出54百万円の資金減少によるものです。

## (参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	第40期 2025年3月期	第41期 2026年3月期
自己資本比率	11.7	7.0
時価ベースの自己資本比率	155.5	256.2
キャッシュ・フロー対有利子負債比率	-	-
インタレスト・カバレッジ・レシオ	-	-

自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／営業キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：営業キャッシュ・フロー／利払い

- ※1. 各指標はいずれも連結ベースの財務数値により算出しております。
2. 株式時価総額は期末株価終値×期末発行済株式総数(自己株式除く)により算出しております。
3. 営業キャッシュ・フローはキャッシュ・フロー計算書の営業活動によるキャッシュ・フローを使用しております。有利子負債は、貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債を対象としております。また、利払いについては、キャッシュ・フロー計算書の利息の支払額を使用しております。

#### (4) 今後の見通し

今後の見通しにつきましては、不安定な国際情勢の長期化や経済の先行き懸念などから、企業の設備投資の動向は不透明で、今後も厳しい状況が続くものと予想しております。

次期の業績予想につきましては、急激な受注の減少や新製品の売上伸び悩みなどから予想しております。その結果通期では、売上高800百万円（前連結会計年度比61.9%減）、営業損失490百万円（前連結会計年度は営業損失112百万円）、経常損失500百万円（前連結会計年度は経常損失114百万円）、親会社株主に帰属する当期純損失520百万円（前連結会計年度は親会社株主に帰属する当期純損失156百万円）を見込んでおります。

なお、2026年4月22日付で公表しました「当社株式の上場廃止の決定及び整理銘柄への指定に関するお知らせ」とおり、当社株式は現在整理銘柄に指定されており、2026年10月1日に上場廃止となります。

##### 「業績予想に関する留意事項」

この資料に記載されている2027年3月期の業績予想は、当社が現時点で入手可能な情報から得られた判断に基づいております。

現在当社の主たる事業活動領域は液晶、次世代ディスプレイ、機能性フィルムなどの画像処理外観検査装置ですが、生産効率化への寄与、新素材への対応など、急速な技術開発を特徴とする市場であり、需要の変動、設備投資額の動向、価格、競争状況、経済環境の変化、その他多くの要因が業績に影響を与えることがあります。また当社は国内だけではなく海外においても取引を行っております。現在はほぼ円貨建取引を行っておりますが、将来外貨建取引が増え、為替相場の変動が業績に影響を与える状況になる可能性もあります。

#### (5) 継続企業の前提に関する重要事象等

当社グループは、8期連続して営業損失を計上し、また2期連続して営業キャッシュ・フローがマイナスとなりました。特定の市場・顧客の設備投資及び顧客からの受注動向によって業績の変動が避けられず、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況が当連結会計年度末に存在しております。

当社グループは、この状況を解消するため、日本セグメントの画像処理外観検査装置及び米国セグメントの3Dソリューションシステム製品の販売拡大に取り組んでまいります。また、組織改革を進め、既存事業の競争力維持と新規事業の創出を図ることで収益基盤の強化を目指してまいります。

画像処理外観検査装置においては、新規市場の開拓や付加価値の高い案件の受注獲得を進めるとともに、画像処理型検査エンジンなどの製品開発と営業展開を強化し、顧客基盤の拡大に努めてまいります。

3Dソリューションシステム製品においては、自社開発のカーネルを採用したソフトウェア製品の販売拡大に加え、当社製カーネルを搭載することで顧客製品の性能向上に寄与する3Dカーネルの販売を推進しております。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準に基づき連結財務諸表を作成する方針であります。なお、IFRS(国際財務報告基準)の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

## 3. 連結財務諸表及び主な注記

## (1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当連結会計年度 (2026年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	438,697	169,976
受取手形	6,237	-
電子記録債権	2,764	2,402
売掛金	269,056	345,508
商品及び製品	14,617	13,534
仕掛品	653,909	32,041
原材料及び貯蔵品	44,853	7,380
その他	67,573	21,260
貸倒引当金	△11,908	△13,037
流動資産合計	1,485,801	579,066
固定資産		
有形固定資産		
工具、器具及び備品	298,607	301,499
減価償却累計額	△298,600	△301,492
工具、器具及び備品 (純額)	6	6
その他	180,629	170,732
減価償却累計額	△180,629	△170,732
その他 (純額)	0	0
有形固定資産合計	6	6
無形固定資産		
ソフトウェア	226,075	207,924
その他	0	0
無形固定資産合計	226,075	207,924
投資その他の資産		
投資有価証券	368	368
破産更生債権等	154	154
その他	23,405	18,572
貸倒引当金	△154	△154
投資その他の資産合計	23,774	18,940
固定資産合計	249,856	226,872
資産合計	1,735,658	805,938

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当連結会計年度 (2026年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	25,178	9,047
短期借入金	90,000	150,000
1年内返済予定の長期借入金	54,380	24,648
未払費用	55,584	57,092
未払法人税等	12,833	12,509
契約負債	1,087,519	319,287
賞与引当金	5,660	-
その他	62,833	84,912
流動負債合計	1,393,990	657,497
固定負債		
長期借入金	91,048	66,400
契約負債	10,173	12,038
退職給付に係る負債	19,306	10,386
リース債務	16,170	787
その他	2,762	2,762
固定負債合計	139,460	92,374
負債合計	1,533,451	749,871
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,951,750	1,951,750
利益剰余金	△1,594,747	△1,750,810
自己株式	△81,727	△81,727
株主資本合計	275,275	119,212
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△73,068	△63,145
その他の包括利益累計額合計	△73,068	△63,145
純資産合計	202,207	56,066
負債純資産合計	1,735,658	805,938

## (2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

## 連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
売上高	1,662,057	2,102,020
売上原価	981,730	1,420,341
売上総利益	680,326	681,679
販売費及び一般管理費	805,654	793,744
営業損失(△)	△125,327	△112,065
営業外収益		
受取利息	665	902
為替差益	462	-
貯蔵品売却益	366	18
ポイント還元収入	411	352
その他	238	64
営業外収益合計	2,143	1,338
営業外費用		
支払利息	2,754	1,543
支払保証料	630	630
為替差損	-	1,510
その他	0	2
営業外費用合計	3,385	3,686
経常損失(△)	△126,569	△114,413
特別利益		
固定資産売却益	-	149
特別利益合計	-	149
特別損失		
減損損失	68,335	36,098
特別損失合計	68,335	36,098
税金等調整前当期純損失(△)	△194,905	△150,362
法人税、住民税及び事業税	5,986	5,700
法人税等合計	5,986	5,700
当期純損失(△)	△200,891	△156,063
非支配株主に帰属する当期純損失(△)	-	-
親会社株主に帰属する当期純損失(△)	△200,891	△156,063

## 連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
当期純損失 (△)	△200,891	△156,063
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△32,193	9,922
その他の包括利益合計	△32,193	9,922
包括利益	△233,084	△146,140
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	△233,084	△146,140
非支配株主に係る包括利益	-	-

## (3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

(単位：千円)

	株主資本				その他の包括利益累計額		純資産合計
	資本金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	1,951,750	△1,393,855	△81,717	476,176	△40,874	△40,874	435,301
当期変動額							
親会社株主に帰属する当期純損失(△)		△200,891		△200,891			△200,891
自己株式の取得			△9	△9			△9
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					△32,193	△32,193	△32,193
当期変動額合計	-	△200,891	△9	△200,900	△32,193	△32,193	△233,094
当期末残高	1,951,750	△1,594,747	△81,727	275,275	△73,068	△73,068	202,207

当連結会計年度(自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)

(単位：千円)

	株主資本				その他の包括利益累計額		純資産合計
	資本金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	1,951,750	△1,594,747	△81,727	275,275	△73,068	△73,068	202,207
当期変動額							
親会社株主に帰属する当期純損失(△)		△156,063		△156,063			△156,063
自己株式の取得			-	-			-
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					9,922	9,922	9,922
当期変動額合計	-	△156,063	-	△156,063	9,922	9,922	△146,140
当期末残高	1,951,750	△1,750,810	△81,727	119,212	△63,145	△63,145	56,066

## (4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純損失 (△)	△194,905	△150,362
減価償却費	243,510	236,503
減損損失	68,335	36,098
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	867	1,166
賞与引当金の増減額 (△は減少)	400	△5,660
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△876	△8,920
受取利息及び受取配当金	△665	△902
支払利息	2,754	1,543
為替差損益 (△は益)	444	691
固定資産売却損益 (△は益)	-	△149
売上債権の増減額 (△は増加)	△86,662	△70,577
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△65,862	653,348
未収消費税等の増減額 (△は増加)	17,088	42,599
未払消費税等の増減額 (△は減少)	-	32,614
仕入債務の増減額 (△は減少)	△74,793	△16,069
契約負債の増減額 (△は減少)	△64,991	△762,742
その他	△31,915	△8,331
小計	△187,268	△19,150
利息及び配当金の受取額	664	902
利息の支払額	△2,827	△1,544
法人税等の支払額	△5,986	△5,700
営業活動によるキャッシュ・フロー	△195,417	△25,493
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の払戻による収入	31,678	-
有形固定資産の取得による支出	△81,668	△44,116
有形固定資産の売却による収入	366	149
ソフトウェアの取得による支出	△200,979	△203,320
その他	△455	-
投資活動によるキャッシュ・フロー	△251,057	△247,287
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入れによる収入	90,000	60,000
短期借入金の返済による支出	△250,000	-
長期借入金の返済による支出	△88,656	△54,380
その他	△9	-
財務活動によるキャッシュ・フロー	△248,665	5,620
現金及び現金同等物に係る換算差額	7,100	△1,560
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△688,040	△268,721
現金及び現金同等物の期首残高	1,126,737	438,697
現金及び現金同等物の期末残高	438,697	169,976

## (5) 連結財務諸表に関する注記事項

## (継続企業の前提に関する注記)

当社グループは、8期連続して営業損失を計上し、また2期連続して営業キャッシュ・フローがマイナスとなりました。特定の市場・顧客の設備投資及び顧客からの受注動向によって業績の変動が避けられず、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況が当連結会計年度末に存在しております。

当社グループは、この状況を解消するため、日本セグメントの画像処理外観検査装置及び米国セグメントの3Dソリューションシステム製品の販売拡大に取り組んでまいります。また、組織改革を進め、既存事業の競争力維持と新規事業の創出を図ることで収益基盤の強化を目指してまいります。

画像処理外観検査装置においては、新規市場の開拓や付加価値の高い案件の受注獲得を進めるとともに、画像処理型検査エンジンなどの製品開発と営業展開を強化し、顧客基盤の拡大に努めてまいります。

3Dソリューションシステム製品においては、自社開発のカーネルを採用したソフトウェア製品の販売拡大に加え、当社製カーネルを搭載することで顧客製品の性能向上に寄与する3Dカーネルの販売を推進しております。

しかしながら、当社グループの収益力の早期改善には依然として困難が伴っております。特に、画像処理外観検査装置における新規装置の受注は深刻な水準まで落ち込み、当連結会計年度末の受注残高は大幅に減少いたしました。また、3Dソリューションシステム製品においても需要の停滞が続き、事業運営には不確実性が生じております。

その結果、来期以降の資金確保の見通しは依然として不透明であり、現時点で具体的な資金計画の策定には至っておりません。今後の資金調達の状況によっては、当社の資金繰りに重大な影響を及ぼす可能性があることから、継続企業としての前提に重要な不確実性が認められます。

なお、連結財務諸表は継続企業を前提として作成されており、継続企業の前提に関する重要な不確実性の影響を連結財務諸表に反映しておりません。

## (表示方法の変更)

## (連結貸借対照表関係)

前連結会計年度において、「流動負債」の「その他」に含めていた「未払費用」は、金額的重要性が増したため、当連結会計年度より独立掲記することとしております。この表示方法の変更を反映させるため、前連結会計年度の連結財務諸表の組替えを行っております。

この結果、前連結会計年度の連結貸借対照表において、「流動負債」の「その他」に表示していた118,418千円は、「未払費用」55,584千円、「その他」62,833千円として組み替えております。

## (連結キャッシュ・フロー計算書関係)

前連結会計年度において、独立掲記しておりました「営業活動によるキャッシュ・フロー」の「前払費用の増減額」及び「未払金の増減額」は、重要性が乏しくなったため、当連結会計年度より「その他」に含めて表示しております。この表示方法の変更を反映させるため、前連結会計年度の連結財務諸表の組替えを行っております。

この結果、前連結会計年度の連結キャッシュ・フロー計算書において、「営業活動によるキャッシュ・フロー」に表示していた「前払費用の増減額」△2,946千円及び「未払金の増減額」△15,437千円は、「その他」△31,915千円として組み替えております。

## (セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## 1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、経営者が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、画像処理外観検査装置の他、3Dソリューションシステム及びメディアネット機器を生産・販売しております。主な生産活動は当社が担当し、販売活動のうち、国内とアジア地域においては当社が、米州においては米国子会社が担当しております。

海外子会社は独立した経営単位であり、取り扱う製品について各地域の包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

従って、当社グループは地域別のセグメントから構成されており、「日本」、「米国」の2つを報告セグメントとしております。

## 2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、直近の有価証券報告書の「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と概ね同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

## 3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント		合計
	日本	米国	
売上高			
外部顧客への売上高	1,092,335	569,722	1,662,057
セグメント間の内部 売上高又は振替高	267,983	-	267,983
計	1,360,319	569,722	1,930,041
セグメント損失(△)	△129,105	△56,451	△185,557
セグメント資産	1,694,134	91,045	1,785,179
その他の項目			
減価償却費	252,053	643	252,696
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	287,661	3,690	291,352

当連結会計年度(自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント		合計
	日本	米国	
売上高			
外部顧客への売上高	1,533,744	568,276	2,102,020
セグメント間の内部 売上高又は振替高	270,185	-	270,185
計	1,803,930	568,276	2,372,206
セグメント損失(△)	△93,863	△63,935	△157,799
セグメント資産	795,751	88,462	884,213
その他の項目			
減価償却費	244,185	981	245,167
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	251,167	7,162	258,330

## 4. 報告セグメント合計額と連結財務諸表計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

売上高	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	1,930,041	2,372,206
セグメント間取引消去	△267,983	△270,185
連結財務諸表の売上高	1,662,057	2,102,020

(単位：千円)

損失	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	△185,557	△157,799
セグメント間取引消去	7,339	7,322
内部利益の調整額	2,891	4,699
貸倒引当金の調整額	49,997	33,713
連結財務諸表の営業損失(△)	△125,327	△112,065

(単位：千円)

資産	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	1,785,179	884,213
セグメント間取引消去	△693,039	△816,726
内部利益の調整額	△11,001	△6,302
その他	654,519	744,754
連結財務諸表の資産合計	1,735,658	805,938

(単位：千円)

その他の項目	報告セグメント計		調整額		連結財務諸表計上額	
	前連結会計年度	当連結会計年度	前連結会計年度	当連結会計年度	前連結会計年度	当連結会計年度
減価償却費	252,696	245,167	△9,186	△8,663	243,510	236,503
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	291,352	258,330	△8,704	△3,963	282,647	254,366

(注) 減価償却費、有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額は、内部利益の消去額であります。

## 【関連情報】

前連結会計年度(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

## 1. 製品及びサービスごとの情報

(単位：千円)

	画像処理 外観検査装置	3Dソリューション システム	メディアネット機器	合計
外部顧客への売上高	905,430	691,074	65,552	1,662,057

## 2. 地域ごとの情報

## (1) 売上高

(単位：千円)

日本	韓国	台湾	中国	米州	その他	合計
242,136	5,197	141,753	703,060	521,174	48,736	1,662,057

(注) 当社及び連結子会社の国又は地域における売上高であり、国又は地域の区分は地理的近接度によっております。

## (2) 有形固定資産

(単位：千円)

日本	米国	その他	合計
0	6	0	6

## 3. 主要な顧客ごとの情報

(単位：千円)

顧客の名称又は氏名	売上高	関連するセグメント名
Xiamen Tianma Optoelectronics Co., Ltd.	689,000	日本

当連結会計年度(自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)

## 1. 製品及びサービスごとの情報

(単位：千円)

	画像処理 外観検査装置	3Dソリューション システム	メディアネット機器	合計
外部顧客への売上高	1,339,065	696,621	66,333	2,102,020

## 2. 地域ごとの情報

## (1) 売上高

(単位：千円)

日本	韓国	台湾	中国	米州	その他	合計
696,082	10,155	24,377	802,931	511,066	57,408	2,102,020

(注) 当社及び連結子会社の国又は地域における売上高であり、国又は地域の区分は地理的近接度によっております。

## (2) 有形固定資産

(単位：千円)

日本	米国	その他	合計
0	6	0	6

## 3. 主要な顧客ごとの情報

(単位：千円)

顧客の名称又は氏名	売上高	関連するセグメント名
Xiamen Tianma Optoelectronics Co., Ltd.	434,000	日本
株式会社ホクシン	245,600	日本

## 【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント		合計
	日本	米国	
減損損失	65,289	3,046	68,335

当連結会計年度(自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント		合計
	日本	米国	
減損損失	29,830	6,267	36,098

## 【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

該当事項はありません。

## 【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

該当事項はありません。

## (1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
1株当たり純資産額	14円69銭	4円07銭
1株当たり当期純損失金額(△)	△14円59銭	△11円34銭

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、1株当たり当期純損失であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり当期純損失金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
親会社株主に帰属する当期純損失金額(△) (千円)	△200,891	△156,063
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純 損失金額(△)(千円)	△200,891	△156,063
普通株式の期中平均株式数(株)	13,767,833	13,767,789

## (重要な後発事象)

該当事項はありません。

## 4. その他

## 生産、受注及び販売の状況

## (1) 生産実績

当連結会計年度における生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	生産高(千円)	前期比(%)
日本	951,953	△23.3
米国	568,272	△0.3
合計	1,520,225	△16.1

- (注) 1. セグメント間取引については、相殺消去しております。  
2. 金額は、販売価格によっております。

## (2) 受注実績

当連結会計年度における受注実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高(千円)	前期比(%)	受注残高(千円)	前期比(%)
日本	370,565	+14.2	63,250	△94.0

- (注) 米国については、見込生産を行っているため受注実績はありません。

## (3) 販売実績

当連結会計年度における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	販売高(千円)	前期比(%)
日本	1,533,744	+40.4
米国	568,276	△0.3
合計	2,102,020	+26.5

- (注) 1. セグメント間取引については、相殺消去しております。  
2. 主な相手先別の販売実績及び当該販売実績の総販売実績に対する割合

相手先	前連結会計年度		当連結会計年度	
	販売高(千円)	割合(%)	販売高(千円)	割合(%)
Xiamen Tianma Optoelectronics Co., Ltd.	689,000	41.5	434,000	20.6
株式会社ホクシン	-	-	245,600	11.7